

研究機関名：東北大学

受付番号： 2011-434

研究課題名 次世代シークエンサーを用いた脾炎関連候補遺伝子の全国的調査

研究期間 西暦 2011年 10月（倫理委員会承認後）～ 2016年 10月

対象材料

病理材料（対象臓器名）

生検材料（対象臓器名）

血液材料 遊離細胞 その他（血液より抽出した遺伝子）

上記材料の採取期間 西暦 1997年 1月～ 2011年 9月

意義、目的 本研究は次世代シークエンサーにより、脾炎関連遺伝子を網羅的かつ全国的に解析・調査をおこない、本邦における脾炎関連遺伝子異常を解明することが目的である。すでに当科で遺伝子を抽出し、脾炎の感受性に関する2次利用に対する包括的同意がある検体も解析対象とすることで、より精度の高い調査が可能となる。

方法 過去に文書にて脾炎感受性遺伝子に関する2次利用に対して、包括的同意の上、血液より採取し保存されている遺伝子を使用する。次世代シークエンサーにより候補遺伝子の異常を同定し、健常群と比較することで、脾炎との関連性について検討する。解析は原則として東北大学医学系研究科で行いますが、一部理研ジェネシスに外注して解析することも計画しています。

問い合わせ等の窓口 東北大学病院消化器内科

脾臓グループ 正宗 淳 980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話
022-717-7171